

別表第3 教員免許状取得に必要な教職のための科目

- ・「科目区分」欄についての詳細は、教職課程の手引きを参照すること。
- ・各教科の指導法に関する科目（「〇〇教育の理論と方法A、B」）については、取得しようとする免許教科ごとに中学校一種の場合は8単位（A・B両方）、高等学校一種の場合は4単位（A・Bいずれか）以上修得しなければならない。

第一欄	教科及び教職に関する科目	右項の各科目に含めることが必要な事項	授業科目名	選必修別	授業形態	学年	履修期	単位数	備考
第二欄	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	別表第1を参照のこと						計20
		各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	数学教育の理論と方法 A	必修	講義	3年	通年	4単位	高1種免はいずれか1科目必修
			数学教育の理論と方法 B	必修	講義	3年	通年	4単位	
			理科教育の理論と方法 A	必修	講義	3年	通年	4単位	高1種免はいずれか1科目必修
			理科教育の理論と方法 B	必修	講義	3年	通年	4単位	
			技術教育の理論と方法 A	必修	講義	3年	通年	4単位	いずれか1科目選択必修
			技術教育の理論と方法 B	必修	講義	3年	通年	4単位	
			情報教育の理論と方法 A	選択必修	講義	3年	通年	4単位	
			情報教育の理論と方法 B		講義	3年	通年	4単位	
			工業教育の理論と方法 A	選択必修	講義	3年	通年	4単位	いずれか1科目選択必修
			工業教育の理論と方法 B		講義	3年	通年	4単位	
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	必修	講義	1年	通年	4単位	
		・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育史	選択	講義	3年	通年	4単位	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	現代教職論	必修	講義	1年	前期	2単位	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	学校経営論	選択	講義	3年	前期または後期	2単位	
			教育法規	選択	講義	3年	前期または後期	2単位	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	必修	講義	1年	後期	2単位	
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別なニーズ教育入門	必修	講義	1年	集中	1単位	
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	必修	講義	1年	集中	1単位	
第四欄	関連する科目及び総合的な指導・学習の時間相等の指	道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論と方法	必修	講義	1年	前期または後期	2単位	中1種免のみ必修 高1種免は「第六欄」選択科目
		総合的な学習の時間の指導法 ^{*1} 総合的な探究の時間の指導法 ^{*2}	総合的な学習の時間の理論と方法	必修	講義	1年	1Qまたは2Qまたは3Qまたは4Q	1単位	^{*1} 中1種免 ^{*2} 高1種免
		特別活動の指導法	特別活動の理論と方法	必修	講義	3年	前期	2単位	
		教育の方法及び技術	教育工学	選択	講義	3年	前期	2単位	
		・教育の方法及び技術 ・情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育方法論（情報通信技術の活用を含む）	必修	講義	3年	前期または後期	2単位	
		・生徒指導の理論及び方法 ・教育相談（カウンセリング）に関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法 ・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒指導論 （教育相談及び進路指導を含む）	必修	講義	3年	通年	4単位	
第五欄	教科目実践に関する	教育実習	教育実習指導	必修	演習	3年	後期	1単位	
			教育実習 A	必修	実習	4年	通年	2単位	
			教育実習 B	必修	実習	4年	通年	2単位	中1種免のみ必修
		教職実践演習	教職実践演習(中学校高等学校)	必修	演習	4年	後期	2単位	
第六欄	る設独大 科定自 学 目 す に が		社会教育	選択	講義	1年	前期または集中	2単位	
			道徳教育の理論と方法	選択	講義	1年	前期または後期	2単位	高1種免のみ「第六欄」に分類